

特集

教育の前提を問い、
変わっていくために

教育機関の 組織改革

医療構造や人口動態など、社会が大きく変化しています。従来、看護基礎教育の文脈では、こうした社会変革は「指定規則の改正」やそれに準じたカリキュラム編成として、少なくとも理念上は反映されてきました。

しかし、指定規則はあくまで「教育の内容」です。また、第5次指定規則改正で明記された、「地域・在宅看護論」などは、地域や学校の特性を反映した教育内容が求められています。この実現には、教育機関・教員が自律的に教育のあり方をとらえ直し、組織づくりを行う必要があります。そのためには、教員には、これまで以上にリーダーシップも求められていくでしょう。

本特集では看護教育機関に変革が求められている現在において、変革のための道筋、教員に求められるリーダーシップをご紹介しますとともに、よりよい教育を実現したいと願う、すべての教員への応援となることをめざします。